



こましさ

平成31年
4月18日(木)
No.3

《教育目標》 ~夢に向かって やさしく! かしく! たくましく!~

PTAへの参加ありがとうございました!

4月17日(水)PTA授業参観・総会が行われました。授業参観は教室に入れきれないほどでしたし、総会にもたくさんの方々に出席していただきました。本当にありがとうございました。総会では、私の方から本校の現状をお伝えするとともに、今年度の重点指導事項、いじめ対策、「たくましさ」を育てる指導などについて話をさせていただきました。また、新役員も決定いたしました。役員の方々には、ご難儀をおかけいたしますが、どうかよろしく願いいたします。

次回の授業参観日は7月11日(木)の予定です。この次もたくさんの方々の参加をお待ちしております。また、総会資料には年間の行事予定も綴じ込んでいますのでご活用ください。日時等に変更があった場合は、学校報等でお知らせする予定です。

シェイクアウト訓練実施! ~自分の命は自分で守れる子どもに~

4月12日(木)災害発生時の初期対応と避難経路の確認を兼ねて、シェイクアウト訓練を実施しました。シェイクアウトとは、「まず低く、しゃがむ」「頭を守る、かくれる」「動かない、待つ」の3つの行動をとることです。緊急事態発生時の放送とともに机の下に入って身を守り、その後、先生方の指示で避難経路を確認しました。1年生も先生の指示にしたがって、立派に訓練に参加できました。災害はいつどこで起きるか分かりません。いつどこにいても自分の命を自分で守れる子どもになってほしいと願っています。



机の下に避難する Tさん

新年度の準備がどんどん始まっています!

4月15日(月)から時間割が開始され、いよいよ今年度の授業が本格的にスタートしました。また、16日(火)には、4・5年生の児童が所属するクラブを決めるクラブプレゼンテーションを行いました。6年生は、4・5年生の希望者がいないと自分たちのクラブがなくなってしまうため、必死に楽しさをアピールしていました。4・5年生はそれを見て自分で入りたいクラブを選びました。お子さんが、学級でどんな係になり、どんな委員会に所属し、どんなクラブに入ったのかなど、ご家庭で話題にしてみてください。



写真・イラスト・パソコンクラブ

お子さんの写真等の掲載について

本校では、学校の様子を分かりやすくお伝えしたいという考えから、お子さんの写真等を学校報やホームページ等に載せております。お子さんの写真等を載せることについて、昨年度まで毎年全校の保護者の方に回答していただいていたのですが、今年度からは1年生のみとさせていただきます。もしも昨年度の回答に変更がある場合は、担任の先生またはKまで連絡をお願いいたします。

だしのご園の先生方が1年生の様子を参観！

4月15日（月）、16日（火）の2日間にわたって、だしのご園の6名の先生方が1年生の学習や給食の様子を見に来てくれました。本校とだしのご園は、1年生がスムーズに小学校生活に入れるように交流授業を行ったり、先生方同士で話し合いを重ねたりしています。その成果もあってか今年の1年生も年度当初からしっかりと学習できています。この状況はとても素晴らしいことで、だしのご園の先生方の指導による所が大きいと思っています。これからもだしのご園と連携を図りながら、諸活動に取り組んでいきたいと考えています。



給食の準備をする1年生とその様子
を参観するだしのご園の先生

「働き方改革」へのご理解をお願いいたします！

P T Aの際にもお伝えしましたが、教職員の長時間勤務は深刻な状況であり、本校も例外ではありません。最近では、教職員を志望する大学生が減少傾向にあり、本県においても教職員の人材確保は深刻な問題になっています。本校でも、子どもたちへの指導に影響が出ないようにしながら業務量の削減に努めていきたいと考えています。学級通信の回数が減ったり、学校に18時以降に電話しても誰も出なかったりなどということもあるかもしれませんが、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

少し前のものですが、地域や保護者の方々に向けた文部科学大臣のメッセージを載せましたので、ご一読ください。

『家庭・地域の宝である子供たちの健やかな成長に向けて』

～ 学校における働き方改革の実現 ～

《文部科学大臣メッセージ》

1月25日、中央教育審議会から、学校における働き方改革の推進に係る提言をいただきました。これを受けて、文部科学省は学校が引き続き、質の高い教育を提供し続けられるよう取組を加速化してまいります。

今、学校現場では、教師の長時間勤務の深刻な実態があり、働き方改革は待ったなしの状況です。“子供たちのため”を合言葉に、これまで志ある教師たちがその使命感から、様々な社会の要請に応じてきましたが、過労死に至ってしまうような痛ましい事態もあり、ここで教師の働き方を変えなければなりません。働き方改革はこれからも、志高く能力のある方々が教師の道を選び、我が国の学校がさらに充実・発展するためにも不可欠になっています。

これは Society 5.0 といった変化の激しい時代を生きる子供たちに“たくましく生きる力”を育むためにも重要です。教師は本分である学習指導をはじめとする教育活動にこれまで以上に力を注ぐ必要があります。

こうした中で、朝早くからの登校指導や夜間・休日の見回り、勝つことだけを重視し長時間の練習を行う部活動、運動会等の過剰な準備など、必要な授業の準備時間が削られてまで教師が行うことでしょうか。“子供たちにとって真に必要なものは何か”，優先順位をつけて大胆に業務を減らし、家庭や地域の御協力を得ながら、社会全体で子供たちを育む体制が不可欠です。

皆さんの住む地域の学校で、教師たちが毎日子供たちの前でいきいきと教壇に立てるよう、力を合わせていきましょう。そして、これからも優秀な若者が教師になりたいと思えるよう、教師の仕事をより魅力的なものにしていきましょう。文部科学省としても、積極的な情報発信や関係者への働きかけ、教育制度の在り方の大胆な見直しや条件整備をしっかりと行うなど、全力を尽くして取り組んでまいりますので、是非、学校における働き方改革に御理解・御協力をお願いします。

平成31年（2019年）1月29日

文部科学大臣 柴山昌彦